



春



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,865人
男子 3,380人
女子 3,485人
世帯数 2,079戸
(11年12月末現在)

新たな文化の創造と 二十一世紀への発信

竜丘公民館長 木下 陸 奥



平成十二年の新年がすばらしい天気恵まれ、穏やかに明けました。おめでとうございます。この一年、まずお互いに健康で平和な年にしたいものであります。健康を害するのには三つの毒があるといいますが、それは、『貪(むさぼ)ること』『瞋(いかる)こと』『癡(おろか)しいこと』であります。平易に言えば、いつも平常心でよくよせず、少しのことでも腹を立てず、穏やかに自分を高める生活をしていくということだと思います。そんな一年でありたいものです。

さて、今年、竜丘公民館にとりまして大変だいな年でありました。地域が熱望していた新公民館が竜丘小学校の東の「前ノ原」地籍に地権者のみなさんご理解をいただき、また関係者の方々のご尽力によって、来春には建設されることになりました。敷地面積は六、五二二㎡(現在は一、一六三㎡)、坪面積は一、七〇〇㎡(現在は七四八・四四㎡)ということですので、立派なものができそうです。飯田市としても地元の要望を十分取り入れてくれるということですので、建設委員会で研究してきたことを盛り込

んで行けるものと思います。そこで、この新公民館建設を機に、これからの公民館のあり方について、多くの方々のご意見をお聞きして研究し、準備してまいります。公民館の機能を十分果たすための基本は、だれもが気軽に立ち寄って活用でき、地域のだれとも交流しあえるところ、また、子どもも体の不自由な方も、年配の方もだれもが不便なく使えるように配慮したいものです。そして、公民館へ行けばみんなと作ったり、調べたり、書いたり、話したり、歌ったりして楽しく勉強できるような内容を考えたいものです。例えば、一つの例としてこんなことはどうでしょう

か。『地域学習室』を設け、郷土の特色ある「古墳」や「ゴフチョウ」や「自由画教室」「民俗」などの資料が棚においてあり、部屋の中央には大机があって、そこで調べたり勉強でき、それらのことについてよく知っておられる方が、時々ボランティアのような形で居て、勉強の手ほどきをしてくださるようなことをしてみたらどうでしょうか。別の部屋では、絵のことや彫塑のことも、また、図書室では子ども本の読み聞かせをしたり、親子の交流や子どもと高齢者との交流ができるようにしたい。そうすることを世話してくださるボランティアのようなた方が時々公民館に居ていただくような仕組みも考えてみたいものです。

施設や設備を考えていくことと合わせて、こうした内容や運営などを地域の方々と準備していく平成十二年でありたいと思います。竜丘の地域が、仲良しの輪を広げ、明るく発展することを衷心より願い、今年一年公民館活動にいろいろご理解とご協力をください。『ふれてください』をテーマに、今年度は、現地視察も含めて行いました。今年度は、『ふれてください』をテーマに、竜丘小学校で行われていた自由画教育をテーマに、講師をつとめた

最後に竜丘の市政懇談会は、大変ユニークなので楽しみにしていたと付け加えまして、竜丘地区の市政懇談会は、形だけの質疑応答ではあまい意味がないので、「竜丘品の良さを知ってもらう」を

基本に、テーマを決めて発表する形式になり三年目を迎えました。一昨年は、ムトス飯田賞を受賞した桐林壮年団と、駄科「鈴岡太鼓」の活動報告があり、昨年は「古墳を考える会」の活動報告を、現地視察も含めて行いました。今年度は、『ふれてください』をテーマに、竜丘小学校で行われていた自由画教育をテーマに、講師をつとめた

最後に、実際に児童と子どものお話を追放した教育は画期的なものであり、また、下平芳太郎校長のもとに集まった、木下紫水、小林八十吉など教育者の力も重要だが、それを支えた地域の力は、さらに素晴らしい。市側からは、十二月一日よりスタートしたゴミの有料化について、水道環境部長の矢澤と平さんが説明しました。ゴミを少しでも減らすために、簡易包装に努めたり、分別の徹底によるリサイクルなど、生活スタイルをかえてほしいと訴えられました。日頃から市の広報などを活用し、市政に関心をもつことが大切だと思います。自分たちが生きていく中で、悔いの残らない豊かで充実した人生を歩めるように、日々の精進を忘れないようにしていきたいものです。年のとり方をしたいものですね。

また食べたいな お菓子の家

おひさまぶんこ
クリスマス会

おひさまぶんこ(飯田中央図書館竜丘分館)のクリスマス会が、十二月十一日に行われました。今年度のクリスマス会は、モールド小物作りと毎年作っているお菓子の家を作りました。

会場に入ると、モールド(針金に毛糸を巻き付けてあるもの)をもらいクリスマスリースを作りまし。サンタクロース、犬、三輪車と自分の好きなものをおもいおもいに挑戦しましたが、最初はモールドにビーズを通して形を作ったり、



みてる クリスマスリースができたよ

二〇〇〇年の一月三日、双子の長寿姉妹で人気のきんさん・ぎんさんの、きんさんが一〇七歳で永眠されたこと、日本中にテレビや新聞で知らされました。きんさんといえば、テレビに映るお顔を拝見しているだけでも、いつも笑顔で楽しいお話を聞かせて下さり、なんとも暖かい気持ちにさせられました。今まで生きてきた中で一番悲しかったことは「戦争」と言っておられました。一〇七年という年を重ねてこられ、人生の苦しみも、悲しみもすべて乗り越え、喜びに変えてしまおうようなそんな空気をもっておられるような気がしました。年を重ね、人生の終末を迎える時、その人の生きざまが、表情に、生活に、周りを取り巻く人々にも現われている気がします。私たちは、誰もが互いに支え合いながら生きていくのだと思います。生活的にはもちろんですが、やはり精神的に支えてもらっていることばかりです。そのことにきちんと感謝しなければいけないなあと思いました。しかし実際には、人を思いやる前に、自分のことで一杯になってしまっていることが多い気がしています。日頃、自分をとりまく人々への姿勢がどうであったのかは、終末を迎えるときに顕著に現れるものだと、多くのお年寄りを見てくる中で感じてきました。自分が終末期を迎えるときまで、悔いの残らない豊かで充実した人生を歩めるように、日々の精進を忘れないようにしていきたいものですね。

ふれてください 竜丘の風に

市政懇談会開かれる

去る十一月二十四日、竜丘地区市政懇談会が、各方面から七十余名の参加により開かれました。冒頭の挨拶では、今村自治協議会長と田中飯田市長が、焼却場・新公民館建設・治水対策・下水道など様々な課題を取り上げ、特に今村自治会長は「他地区に例を見ない多くの事業だが、地区民の同意を得ながら進めたい」と理解と協力をもとめました。田中市長は、介護保険制度について状況説明をし、

最後に竜丘の市政懇談会は、大変ユニークなので楽しみにしていたと付け加えまして、竜丘地区の市政懇談会は、形だけの質疑応答ではあまい意味がないので、「竜丘品の良さを知ってもらう」を

基本に、テーマを決めて発表する形式になり三年目を迎えました。一昨年は、ムトス飯田賞を受賞した桐林壮年団と、駄科「鈴岡太鼓」の活動報告があり、昨年は「古墳を考える会」の活動報告を、現地視察も含めて行いました。今年度は、『ふれてください』をテーマに、竜丘小学校で行われていた自由画教育をテーマに、講師をつとめた

最後に、実際に児童と子どものお話を追放した教育は画期的なものであり、また、下平芳太郎校長のもとに集まった、木下紫水、小林八十吉など教育者の力も重要だが、それを支えた地域の力は、さらに素晴らしい。市側からは、十二月一日よりスタートしたゴミの有料化について、水道環境部長の矢澤と平さんが説明しました。ゴミを少しでも減らすために、簡易包装に努めたり、分別の徹底によるリサイクルなど、生活スタイルをかえてほしいと訴えられました。日頃から市の広報などを活用し、市政に関心をもつことが大切だと思います。自分たちが生きていく中で、悔いの残らない豊かで充実した人生を歩めるように、日々の精進を忘れないようにしていきたいものですね。

最後に、実際に児童と子どものお話を追放した教育は画期的なものであり、また、下平芳太郎校長のもとに集まった、木下紫水、小林八十吉など教育者の力も重要だが、それを支えた地域の力は、さらに素晴らしい。市側からは、十二月一日よりスタートしたゴミの有料化について、水道環境部長の矢澤と平さんが説明しました。ゴミを少しでも減らすために、簡易包装に努めたり、分別の徹底によるリサイクルなど、生活スタイルをかえてほしいと訴えられました。日頃から市の広報などを活用し、市政に関心をもつことが大切だと思います。自分たちが生きていく中で、悔いの残らない豊かで充実した人生を歩めるように、日々の精進を忘れないようにしていきたいものですね。

最後に、実際に児童と子どものお話を追放した教育は画期的なものであり、また、下平芳太郎校長のもとに集まった、木下紫水、小林八十吉など教育者の力も重要だが、それを支えた地域の力は、さらに素晴らしい。市側からは、十二月一日よりスタートしたゴミの有料化について、水道環境部長の矢澤と平さんが説明しました。ゴミを少しでも減らすために、簡易包装に努めたり、分別の徹底によるリサイクルなど、生活スタイルをかえてほしいと訴えられました。日頃から市の広報などを活用し、市政に関心をもつことが大切だと思います。自分たちが生きていく中で、悔いの残らない豊かで充実した人生を歩めるように、日々の精進を忘れないようにしていきたいものですね。



守り続けたい自由画

たっぷり楽しめました ニューイヤークンサート

一月二十二日、冬晴れの好天に恵まれ、十の団体、有志の参加があり、新年にふさわしいたいへん盛り上がりを感じられた一日でした。

今年で五回目になるニューイヤークンサートが行われました。

トップはさざんか大正琴クラブの皆さん九人による「北国の春」「好きになった人」の二曲を哀愁あふれる音色で奏でていました。

次は松原音楽教室有志の皆さんによるハンドベル演奏が、昨年も参加したという六人の子どもたちにより、「マイ・ボニー」「森へ行きましょう」の二曲を聞かせてくれました。ハンドベル独特の透き通った音色が会場いっぱい広がりました。

次に出演した竜丘コーラスの皆さんは十七人という参加団体の中で一番大勢で参加してくれました。

「雪の降る町を」「そんなお婆さんならわくくない」というユニークな歌詞の歌を聞かせてくれました。

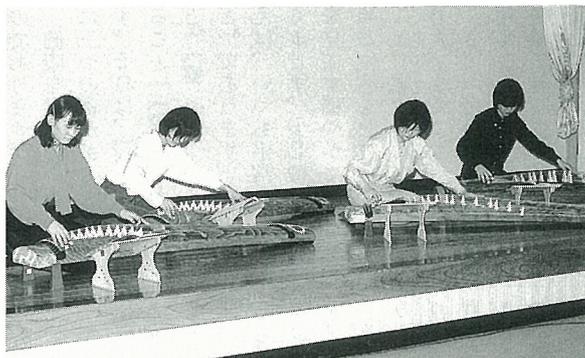
次にハンドベルを演奏する会の皆さんによる演奏がありました。この日のために猛練習をしながらも楽しんで演奏していました。

次に桐林の中島さんを中心としたゆうがのおのみなさん、このコンサートの常

連という事もあり歌に話術にと会場が楽しくなるほどの大変な盛り上がりでした。

維(ゆい)の会の皆さんがゴリラをイメージした「群れ」という曲を披露してくれました。今回は大人の方でなく子ども中心でしたが躍動感あるステージを見せてくれました。

最後に全員で「故郷」「四季の歌」を歌い、ニューイヤークンサートの幕を閉じました。



維の会のみなさんによる箏の演奏

休憩を挟んで長野原の中島さん夫婦を中心とした雑貨屋楽団(元リンバー・ジャックス)の皆さんによるパンジョー・オートハープなどのたいへん珍しい楽器を使い軽快な曲も含めて四曲も聞かせてくれました。

次にハンドベルを演奏する会の皆さんによる演奏がありました。この日のために猛練習をしながらも楽しんで演奏していました。

次に桐林の中島さんを中心としたゆうがのおのみなさん、このコンサートの常

連という事もあり歌に話術にと会場が楽しくなるほどの大変な盛り上がりでした。

維(ゆい)の会の皆さんがゴリラをイメージした「群れ」という曲を披露してくれました。今回は大人の方でなく子ども中心でしたが躍動感あるステージを見せてくれました。

最後に全員で「故郷」「四季の歌」を歌い、ニューイヤークンサートの幕を閉じました。

青年の主張

僕がこの竜丘という地に生まれ、二十年が過ぎました。「二十歳」。それは大人を意味します。大人になるという事は、全ての行事や発言などの責任がすべて自分に降りかかってくる事になります。また、今までの様な考え方は社会の中では通用していけないという事でもあります。

二十歳を迎える僕は「青年塾」というグループに入り、成人式を企画し運営していく実行委員の事です。この青年塾に入り、去年

二十歳になるために そして二十歳を迎えた今

時又 前澤 一聖



班というのは実際にマレーシアに行き、ホームステイをして現地の人々と交流し、様々な体験をするという班でした。マレーシアに行くにあたって僕たちはマレー語の勉強

は違っても心の大きさ、温かさを感じる事ができ、今に生かして、地域の行事や活動に少しでも多く参加して、地域の活性化や発展の役に立てたいいな

てくれました。演奏にはいろいろな種類のハーモニカが使われていて、なかには十八センチ位の大きなものや、口の中に入れてしまいうるような小さいものも有り演奏の前に説明も交え吹いてくれました。

次に竜丘小学校合唱クラブは九人で参加してくれました。クラブ活動の中でいろいろな発表会に参加しているようで、落ち着いてよく通る声で、「夕焼けこやけ」「ふるさと」を聞かせてくれました。

休憩を挟んで長野原の中島さん夫婦を中心とした雑貨屋楽団(元リンバー・ジャックス)の皆さんによるパンジョー・オートハープなどのたいへん珍しい楽器を使い軽快な曲も含めて四曲も聞かせてくれました。

次にハンドベルを演奏する会の皆さんによる演奏がありました。この日のために猛練習をしながらも楽しんで演奏していました。

次に桐林の中島さんを中心としたゆうがのおのみなさん、このコンサートの常

連という事もあり歌に話術にと会場が楽しくなるほどの大変な盛り上がりでした。

維(ゆい)の会の皆さんがゴリラをイメージした「群れ」という曲を披露してくれました。今回は大人の方でなく子ども中心でしたが躍動感あるステージを見せてくれました。

最後に全員で「故郷」「四季の歌」を歌い、ニューイヤークンサートの幕を閉じました。

次に桐林の中島さんを中心としたゆうがのおのみなさん、このコンサートの常



雑貨屋楽団の熱演

美しい川を今いちど

市民大学講座 第三講

第二十一回竜丘地区市民大学講座第三講が去る十二月七日、竜丘公民館で行われました。「竜丘村誌」編集委員の中田美穂さんの講演で、中田さん自身が長期間かけて一歩一歩歩いて記録してきた井水路の変遷について説明してくださりました。

竜丘地区内の七つの川は切れ込みが深く、そのままでは水の利用が不可能であったため、先人たちが知恵と努力を重ねて、上流から水をよんでくる用水路の開きが行われました。

慶長六年の検地帳で、土地の生産性のない下の村とされていた駄科、桐林は、大井川ができたことにより稲作の生産性を高め、生活を豊かに

しました。中田さんは「用水路は竜丘地区の悲願の結晶、尊い先祖の遺産である」と訴え、さらに、川筋に水神碑がまつられ水神信仰の拠点でもあることから「井水は地域の人々の信仰と生活の拠り所だった」と話されました。

しかし、一貫水路完成後水事情も住民の意識も大きく変わり、「大切な川が雑

排水を捨てる場所になってしまっている。植物、動物たちが生き、子どもたちが遊ぶ場所としてもう一度川というものを考え直してほしい」と強調されました。

ほたるのすめる川、メダカの泳ぐ川、私達の生活に

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

今、南信で行政上関心の高い問題は「リニア中央新幹線・ISO取得申請に対する助成・エコバレープロジェクト・ベンチャー企業に対する支援・少子高齢化の問題・環境問題、特に桐林クリーン



市議会を傍聴して

長野原分館長 小林 泉

市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。

現在クラブは、絵手紙クラブ、ハーモニカクラブ、俳句クラブ、マレット健康体操クラブ、おまけの人生クラブ、かるたクラブが有り、それぞれユニークな放

おまけの人生クラブは何ですか？とお聞きすると、月に一回旅行に行ったり、植木や花木を楽しんだり、楽しいことはなんでもやっているそうです。

その後の忘年会も題して「おしゃべりのしくらべ」ということで各班別に口の達者など

当然親しい議員さんの顔も見えたりする訳ですが、とかく政治に関しては選挙が終わると日頃の生活の中でつい無関心になりがちですが、皆さんも一度機会を見つけて傍聴されることをお勧めいたします。

今回地元市議は循環型地域の形成について、青少年クラブ指導者への助成について、ごみ収集車のデザイン統一についてと特にこの三点を提案、質問されました。紙面の都合で詳細には書きませんが竜丘公民館としても飛躍の年です。活動について一層の御協力をお願いいたします。

クラブ活動は、大人の学校に入学しないと入れないという事です。又、他にも二つほどクラブ発足の為の準備を運営委員会で計画しているそうです。入学された方はいつでも声をかけて下さいとのことでした。

にぎやかで楽しかった「大人の学校」クラブ発表会

昨年十二月九日、大人の学校の第五十一回講座として、クラブ発表会と忘年会が行われました。

毎月一回開校している大人の学校の中に、現在六つのクラブ活動があり、今回その活動内容の発表会の場となり、それぞれが日頃の成果を出し合いました。



学級歌をうたう生徒のみなさん